

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 100-0011
住 所 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
氏 名 JFEスチール株式会社 代表取締役社長 林田英治 印
(代理人)専務執行役員所長丹村洋一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	JFE都市開発株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区南渡田町1番1号		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	事務所等賃貸		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		2,344 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t - CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	総務部 京浜総務室
		所 在 地	川崎市川崎区扇島1番地1
	電話番号		044-322-1119
	FAX番号		044-322-1500
	メールアドレス		0

受付欄		特記事項	事業者番号	

(第 2 面)

計 画 期 間 及 び 報 告 年 度	平成22年度 ～ 平成24年度 （報告年度 22 年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別紙 指針様式第2号及び第3号の通り
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別紙 指針様式第2号及び第3号の通り
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別紙 指針様式第2号及び第3号の通り
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別紙 指針様式第2号及び第3号の通り
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標排出量
排 出 量	(実) 5,671 t-CO ₂ (調) 5,671	(実) 5,652 t-CO ₂ (調) 5,652	(実) t-CO ₂ (調)	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 5,635 t-CO ₂ (調)
削 減 率		(実) 0.3 % (調) 0.3	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 0.6 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原 単 位 の 活 動 量			単 位		
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度の値
排 出 量 原単位等の値					
削 減 率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第 1 年度	省エネルギー活動等によりエネルギーの使用量が電気で0.9%、都市ガスで10.7%の省エネルギーができ、温室効果ガスの排出量も0.3%削減することができた。
第 2 年度	
第 3 年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	○ 推進体制の整備 ○ 主要設備の新設・更新 ○ 全館空調管理 ○ 照明設備の運用管理 ○ 事務機器の運用管理
	第 1 年度	○ 主要設備の新設・更新 変電設備の更新 (2 箇所) 等に当たって、熱効率に優れた設備の採用を行った。 ○ 全館空調管理 全館空調システムの運転要領等を協議・見直しを行い、省エネルギーを実施している。
	第 2 年度	
	第 3 年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

現状においては、現有施設・設備の運用面での熱効率化を図ると共に、機器類の更新時における熱効率の優れた機器の採用に努めるものとし、当面は再生可能なエネルギー源等の利用を考えないものとする。

[illegible][illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第 1 年度	なし
第 2 年度	
第 3 年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1．グリーン購入を継続し推進を図る。 2．廃棄物の分別化を推進し廃棄物の減量化を図る。 3．川崎市温暖化対策推進会議へ積極的に参加する。
第 1 年度	1．事務用費の購入等に当たって、グリーン購入の推進を図った。 2．事務所等から排出された廃棄物の分別化を推進し廃棄物の減量化を図った。
第 2 年度	
第 3 年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	5,475	t-CO ₂
(調)	5,475	

(2) 事業所等单位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
テクノパブリケーション川崎	川崎区南渡田町 1 番 1 号	6911	貸事務所	5,475 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--